

行政管理局行政情報システム企画課
調達企画係長

小倉 充生

OGURA MICHITAKA

平成 22年 4月 総務省採用
関東管区行政評価局
平成 23年 4月 行政管理局行政情報システム企画課
情報システム管理室(総合窓口)
平成 25年 4月 行政管理局管理官室
(外務省・防衛省・農林水産省等の情報システム)
平成 26年 4月 行政評価局行政相談課
平成 28年 5月 行政管理局管理官室
(外務省・防衛省・農林水産省等の情報システム)
平成 29年 4月 現 職



変革を実現する力に

日常と変革を支える

私は、行政管理局で政府職員の日常業務を支える情報システム関係業務を担当しています。具体的には府省横断的に利用する情報システムの担当として、文書管理システム(=電子決裁機能などを備えたシステム。政府職員の日常業務の電子化・高度化にも寄与)の整備・運用を担っています。

政府職員の日常業務が円滑に行えるようにサポートする縁の下の力持ちとしての役割と同時に、行政文書の電子的管理など業務の在り方・働き方を変革するという役割を担っています。

行政文書の管理が大きな転換点を迎えている現状において、業務の在り方に即し、システムをどのように改良したら職員が使いやすく、どのような機能を実装したら職員の働き方の変革に寄与できるのか、その実現のためにはどのようなデジタル技術を活用するのが効果的・効率的なのかなど、利用者の声を聞き、業務を分析し、最新のデジタル技術を学びながら、日々システムの改善を模索しています。

想像以上にフレンドリー

みなさんは公務員の働き方についてどのようなイメージを持っているでしょうか。私の職場は、いわゆるお役所というイメージとは違い、とても風通しのいい職場です。政府の情報システム関係業務を所管する行政管理局では、働き方改革やオフィス改革にも積極的に取り組んでおり、フリーアドレス(席が固定されていない)の効果の一つだと思いますが、上司に気軽に相談しやすく、フラットに議論ができる環境になっています。

私自身が入省前に抱いていたイメージとは全く異なり、良い意味で業務上の上司・同僚の距離が近く、また、民間企業など他の業種の方々とやりとりも多く、人としての成長を促してくれる職場であると感じています。

Q 入省後、成長したと思うことは？

A 入省後間もない頃は、会議や打合せの場で、内容に自信が持てない発言はしない、分からないことが恥ずかしいので質問しないなどの対応が多かったように思います。

しかし、この国のために何かを良くしてこうという目的は皆同じで、何かアクションを起こせば、誰かがそれに応えてくれて議論が深まる。そういう体験を重ねたことで、積極的に発言することを意識するようになりました。こうしたフラットな議論が許される職場であることで、自身の成長が促されたと思います。

Q 今後、どのような業務に挑戦したいですか？

A これまでは情報システム関連業務でICTや業務改革に関する知識・経験を蓄えてきました。この知識・経験は政策の企画・立案等のような業務においても必要であり、活かせるものだと考えています。

幸いにも総務省には多種多様な分野の業務がありますので、これまで携わっていない分野の業務、例えば、行政評価局における各府省の課題や問題点を実証的に分析し、改善方策を提示するような業務にもこの知識・経験を活かしてみたいと思っています。

Private
Time

4歳になる娘がいます。子どもが小さいうちからできるだけ色々な体験をさせたいと思っているので、休日はアウトドア活動、もの作り体験、収穫体験、子ども向けイベント等で外出していることが多いです。また、趣味のカフェ巡り、美術館巡りも子どもと一緒に行きやすいところを選んで、家族で楽しんでいます。

